上海現代アートの旅

ロックバンド（ROCK　BUND）

ロックフェラーグループが2007年頃から再開発を進めている、外灘（ＢＵＮＤ）の北側、蘇州河と黄浦河が交わる一帯のエリア。美しい歴史的建造物を見ながら、散策、ショッピング、アート鑑賞ができるスポット。上海外灘美術館（ロックバンド・アートミュージアム）では入場無料で数々の実験的なアートを鑑賞できる。

田子坊

租界時代に建てられた石庫門の集合住宅が残る古今交錯のトレンドエリア。1999年に上海の著名芸術家がここにアトリエを構えたことをきっかけに、国内外のアーティストが集まり、やがて〝上海ＳＯＨＯ〟と呼ばれるまでになった。迷路のような一角にアートスポット、カフェ、レストラン、バー、雑貨店などが軒を連ね、国内外から訪れる観光客が絶えない。

K11アートショッピングモール

2013年に開業した最新スポット。ドルチェ＆ガッバーナ、アルマーニなどの高級ブランドやガッバーナ、アルマーニなどの高級ブランドやレストランに交じって、がってん寿司、はなまるうどんなどの和食ファストフード店も入居。各所に国内外の現代芸術家達の作品が展示されており、ショッピングと同時に芸術ウオークを楽しめる。地階の展覧会スペースでは、随時企画展を実施している。

紅坊（レッドタウン）

1950年代の鉄工所跡地をリノベーションし、2005年に誕生したアートスポット。立体彫刻が並べられた芝生の公園を中心に、美術館、ギャラリー、カフェ、企業のショールーム・オフィス、専門学校などが入居する建物をぐるりと配置。気軽に散歩できるアート公園として家族連れにも人気がある。

M50アート創意園

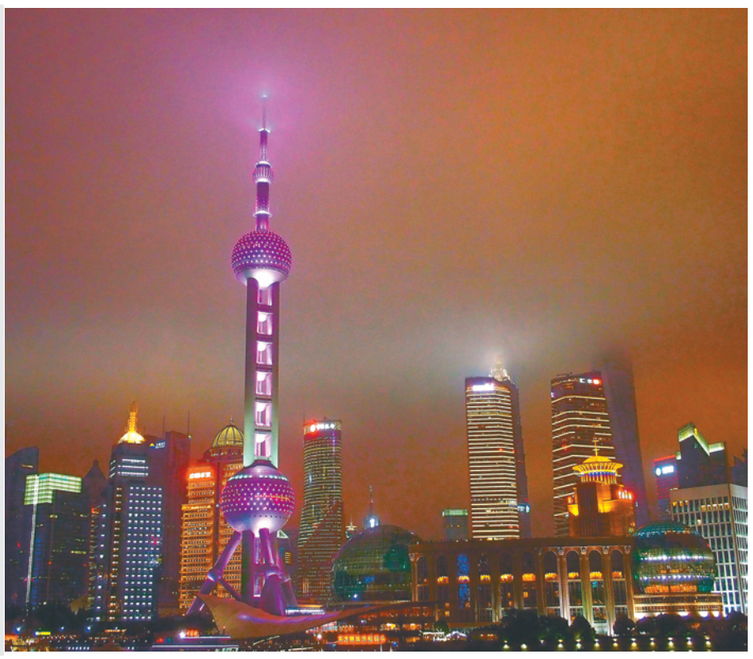
1930年代に建てられた紡績工場と倉庫跡の22棟が2002年、上海市の支援でアートスポットに変身。ギャラリー、ショップ、カフェ、オフィスなど130以上の施設が集積。世界中から気鋭の芸術家が集まっている。

上海当代芸術館（MOCA）

人民公園の一角にある私設美術館。2005年に温室を改装、オープンした。上海市の若者に人気が高い。人民公園の一角にある私設美術館。アニメなどポップカルチャーの展示も多く、最近では日本人アーティストの草間彌生の展覧会が開催され、当館最多入場数を記録する等大きな反響を呼んだ。

高層ビル群の夜景

黄浦江を挟んで東側の浦東エリアは、上海テレビ塔や上海森ビルなどの立ち並ぶ高層ビル群が色とりどりの電飾で光り輝き、観光客や上海っ子達の目を楽しませてくれる。黄浦江の遊覧船ナイトクルーズでは、両岸の夜景を堪能することができる。



旧租界地の夜景

上海の夜景の美しさは世界的にも有名。黄浦江を挟んで西側の旧租界地は、河岸に連なる石造りの建築物群がライトアップされ、歴史の重みを際立たせる。

中国の経済と金融の中心都市、上海市。国際色豊かなこの近代都市は、アジア現代アートの先進地という一面も併せ持つ。今年10月に開催予定の第16回上海国際芸術祭と第10回上海ビエンナーレには、世界中から数多くの来場者が見込まれている。都市を挙げての芸術文化振興で、「中国現代アート」は新しい観光資源として注目を浴び始めている。

中国駐日本観光代表処、上海市観光局、中国国際航空日本支社は、今月10～13日の日程で、旅行会社の中国旅行企画担当者を対象に、中国現代アート視察研修を実施。同行取材した内容をリポートする。

上海では、美術館などのアートスポットで写真撮影ができる場所も多く、アートを身近に感じながら楽しみ、鑑賞することができる。純粋な観光旅行だけでなく、国際展示会参加やビジネス訪問などの需要が多い上海。インセンティブツアーなどの味付けに「現代アート」を組み入れてみるのも面白いのではないだろうか。

【江口英一】

上海雑技団

時代ともに進化する上海雑技団。「ＥＲＡ時空の旅」は伝統的雑技とは一線を画する、サーカスのファンタジーショーだ。

新天地

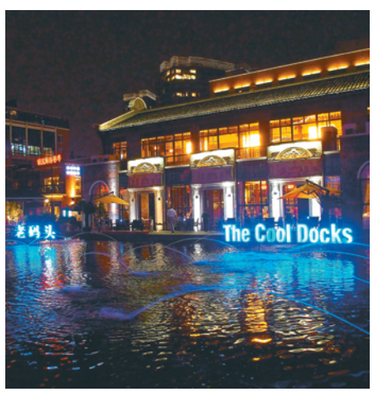
市街区のレンガ造りの古い建物が残る地域を再開発して2000年に開業した地区。ショッピングセンター、レストラン・バー、マンション、オフィスなどで構成。アート系イベントなども開かれる。レストラン・バー、オフィスなどで構成。取材当日は訪れた一般市民のモノクロのスナップショットを建築物に貼っていくという斬新なアートイベントを開催。

ジュメイラ上海・ヒマラヤホテル

ドバイで７つ星ホテル「バージュ・アル・アラブ」や５つ星ホテル「ジュメイラ・ビーチホテル」を展開するジュメイラ・ホテルズ・グループのアジア初進出ホテル。磯崎新氏の設計。エントランス、ロビー、廊下、客室など、至る所に絵画・書画、彫刻・オブジェなどの芸術作品が展示されており、〝アートホテル〟とも呼ばれる。

老碼頭（The Cool Docks）

2008年9月、再開発が進む黄浦江のほとりに開業。噴水広場を中心にレンガ造りの倉庫群を再生した建物が連なり、オープンカフェやギリシャ料理店、キューバブランドのシガーバー、チャイナドレス専門店などが並ぶトレンディースポット。かつては船着き場や市場、工場などが集まる歴史ある埠頭だったことから老碼頭（古い港）という名前が付けられている。



南京路歩行街

上海市内の代表的な繁華街。1851年に開発が始まった商業街で、歴史を感じさせる外観の老舗百貨店や最新のファッションブランド、観光客向け土産物店などが混在する。

上海ヒマラヤ美術館

ジュメイラ上海・ヒマラヤホテル、ショッピングモール、イベントホールなどが一体となった複合施設「ヒマラヤセンター」の一角を構成する現代アート美術館。